品質カイゼン室の花のソコが知りたい！

スナップ編

色とりどりの花を咲かせ、香りも楽しむことのできる「スナップ」。
アレンジを豪華に見せたいとき、ラインフラワーとしても大活躍します。

スナップのポイント

＊日当たりが良く、水はけの良い場所を好みます
＊開花期が長く、耐寒性が強いです
＊エチレン感受性が高く、STS 剤の前処理が必要です
＊切花栄養剤を使用し、花がらをこまめに取り除くことで花を長く楽しむことができます

学名：*Antirrhinum majus*
和名：金魚草（キンギョソウ）
分類：オオバコ科　キンギョソウ属
原産：ヨーロッパ南部、北アフリカ

花の形から、「竜の口」という意味のスナップドラゴンと名づけられ、略してスナップと呼ばれています。
和名の金魚草も上向きに口が開く花姿を形容したものです。

スナップの歴史

スナップは独特の香りが悪魔と病気を追い払うと信じられており、非常に古くからヨーロッパ各地で栽培されていました。1824 年にオレンジ色が出現してから急速に多くの花色が現れるようになり、20 世紀にはアメリカ合衆国の太平洋沿岸地域で温室栽培の切花が盛んになりました。

日本へは江戸時代末期にすでに導入されていたとされますが、実際に栽培されるようになったのは昭和に入ってからのことです。

栽培方法

現在の切花用の大部分が属している品種は、特に日照の少ない豪雪地帯を除いた日本の大部分の地域で栽培することが可能です。主に暖地栽培ですが、一部高冷地産のものもあります。このタイプの品種には、主に次のような２種類の花型があります。

○普通咲き品種○

本来のキンギョソウの名前の由来になった、金魚の形に似た花型。水揚げがよいため、切花として最もつくりやすい品種です。

◎アスリートシリーズ、メリーランドシリーズなど

○ペンステモン咲き品種○

通常の金魚のような形ではなく、花弁が朝顔のように開き、花が穂状につきます。アレンジなどに使用されることが多いですが、低日照時に栽培すると花首が伸び、折れやすくなります。

◎バタフライシリーズ、カリヨンシリーズなど

＊作型＊

作型＼月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
加温促成栽培			★				●---▲--■		◎	----		☆
主な作業		●播種	加温終了	▲仮植		■摘心	◎定植		ビニル被覆	収穫開始	加温開始	

＊播種＊

根の伸長が悪くなるので、用土は細かい砂が多くならないようにしましょう。また、土壌消毒は必ず行います。
微細な種子なので厚まき（種子を密にまくこと）にならないように注意します。種子はばらまき、覆土は行いません。

＊仮植＊

播種後 10～15 日、本葉が展開し始めたころに行います。できるだけ涼しく、雨のあたらないハウス内で行います。浅植えし、地際部を押さえないようにします。

＊定植＊

摘心後発生した一次分枝が 2 節葉ごろに行います。定植が遅れると開花時期が遅くなる傾向があるので、適期に植える必要があります。冬季のガーデニングでは霜に弱いため注意が必要です。

＊温度管理＊

日中は 15～18℃を目安に充分換気します。花芽分化後に 0℃以下の低温に遭遇するとブラインド（花芽が完全な花にならない現象）になるので注意します。

＊ネット入れ・整枝＊

キンギョソウは茎が曲がりやすいので、ネットを 2～3 段使用し、随時ネット入れを行って茎の曲りを防ぎます。ネットは定植時にあらかじめ準備し、生育に合わせてあげていきます。

生育スピードが速いため、
頭がネットにつかえて曲がらないよう、
毎日ネット入れ作業が必要です。

＊収穫＊

切り前は、普通咲き品種は７輪咲き、ペンステモン咲き品種では４輪咲きが基準ですが、秋・春期には開花が早いので１輪程度かためでも良いです。切花後も横にしておくと、植物体が重力の作用に対して起こす屈性により花穂の先端が上を向いて曲がるので、垂直に立てておく必要があります。花穂が折れやすく、小花も落ちやすいので丁寧に扱いましょう。また、キンギョソウはエチレン感受性が高いので、出荷前にSTS剤（チオ硫酸銀。エチレン作用の抑制効果がある）の処理を行います。

注意する病気・病害虫

●灰色かび病●

茎や葉に褐色の輪紋が発生し、後に灰色のカビが密生する。

⇒ハウスの換気を充分に行い、過湿を避ける。また、花がらをこまめに摘み取る。

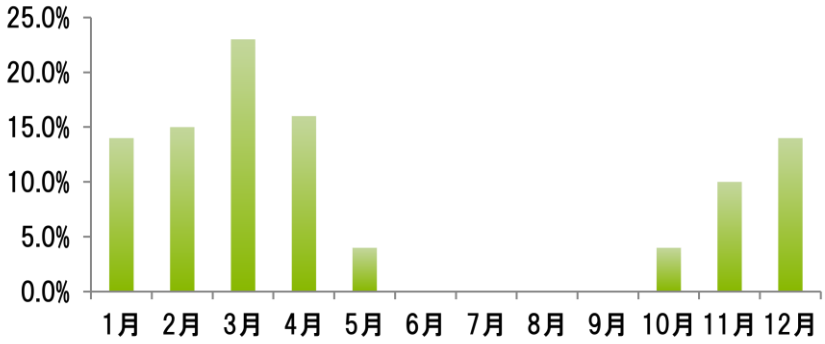
●アブラムシ類●

主に３月～4月ごろ葉や蕾に寄生する。

⇒新芽の部分に殺虫剤をよくかけ、予防・駆除する。

年間の入荷量の推移

冬場から春先にかけて旬です。
３月にピークを迎えます。
草丈が大きく、花も大きいベル咲きのジャイアントシリーズは秋から初夏まで出回ります。



主な生産地

千葉県　静岡県　香川県　埼玉県　愛知県

日持ちのポイント

- 葉が濃く茎が太いものが丈夫で、花が詰まったものが新鮮です
- 葉がしおれたら新聞紙で巻いて深水につけましょう
- 日持ちは約１週間
- 水につかった茎が腐りやすいので、切り戻しと水かえをこまめに行いましょう
- 切花栄養剤を使用すること小花の発色が良くなり、花もちが延長されます

品種

オレンジブロッサム

雪姫

カリヨンピンク

アスリートレッド

アスリートイエロー

ライトピンクバタフライ

普通咲き

ペンステモン咲き

最近は大輪の花を咲かせる品種も出回り、大きなアレンジにも使えるようになってきました。草丈の低いものから高いものまで、豊富な品種の中から用途に合ったものを選び、これからの季節に飾ってみてはいかがでしょうか。

参考資料

農山漁村文化協会 発行　「農業技術体系 花卉編８」

宇田明 桐生進 著　「花屋さんが知っておきたい花の小事典」

宍戸・長塩 著　「花屋さんの花材が全てわかるアレンジ図鑑」

株）大田花き

品質カイゼン室